

「日身連小規模作業所 全国連絡協議会研修会」 に参加して



江頭博幸

二月二日東京都戸山サンライズで「日身連小規模作業所全国連絡協議会研修会」が開催されました。
会議の内容は直接ボランティアの皆さんには関係ありませんが、国の福祉に対する考えの一端がうかがえますので若干の報告をします。
通院介護センターさわやかは、北九州市障害者小規模共同作業所として、市から認定をうけ、事業をしています。現在の福祉制度は、国民の

皆様の善意のボランティア活動に支えられながら、劣悪な条件（賃金、設備、運営など）で、細々と行われています。
厚生労働省は、現状では、あまりにも劣悪だとして、せめて世間並みになるよう援助をするように方針を出したようです。（筆者の感覚で）
会議では、小規模作業所をNPO法人（特定非営利活動法人）にして、法人格を認められれば、補助金が出るようになります。

この条件をクリアするためには、多くの難題があるの
で、簡単にNPO法人という
訳にはゆきません。
「さわやか」では、当面様子
をみることにしています。
個人のボランティアとして
いた、小規模作業所を世間に
認められる法人にして、その
地位の向上を目指しているも
のだともいえます。
少しでも障害者に対する待
遇がよくなれば、社会も明る
くなるのではないのでしょうか。

私の社会奉仕

加峯東樹 63歳・透析歴13年

昭和三十三年（十九歳）、尿検査で蛋白が出ており腎炎と診断され腎臓病の始まりでした。昭和六十三年十二月頃から、貧血がたびたび起こるので、病院に行く、尿酸値、尿素窒素、クレアチニン共に数値限界、即入院。

平成一年二月十八日第一回透析中、貧血を起こし気分が悪かった。これからの透析が心配であった。
人生五十年で終わっていた命を、現代医療技術と、病院の先生、スタッフの方々及び、社会保険制度のおかげで生き

ておられる事を大変感謝しています。
何か社会に恩返しをしなくてはと思っていました。
ある時、通院介護のボランティアアしませんかと言われて、これはいい機会だと思い、OKしました。
早速、通院介護センター「さわやか」に出かけて、患者さんの名前、必要事項を書いたメモ用紙をもらって、ボランティアスタート。
最初に、通院介護する方は手と足の不自由な女性でした。私の車はバンタイプで車高が

高く一人で乗ることが出来ませんでした。
相手は女性ですから体のどこに手をやって乗せればよいか気を使いました。
最初は、自己紹介、患者さんがリラックスでき、話し易いように心がけています。お話を内容は、今日の体調はどうか、透析中は、悩みとか、趣味の事など。スケジュールは、通院介護が、月水金の朝方と、昼からの送迎、四時から私の夜間透析。ボランティアする事で一日の緊張感があり満足しています。
ボランティアを継続していく為には、まず健康でなければなりません。

人工透析をする上での注意事項を良く守り、特に除水量が多くならないように気をつけています。高齢になると体が硬くなり腕や足腰が弱っていますので、毎日ラジオ体操して少しでも筋肉を伸ばし体が柔らかくなるようにします。足腰を鍛えるため毎日歩きますが、歩く途中に一箇所坂道を入れて、はあーはあー言いながら登ると大変効果があります。又、必ず汗が出るように歩くこと。
以上ボランティアについて述べましたが皆様にも少しでも役に立てれば幸いです。皆さんボランティアやってみませんか？

Shout (参加者) 募集内容

練習日 毎週水曜日 19:00~21:00
概ね、毎週水曜日の上記の時間に予定していますが、練習内容、今後の日程などについては、後日連絡します。

場所 小倉北中央公民館
(北九州市小倉北区大門)

課題曲 「上を向いて歩こう」
「OH! HAPPY DAY」など

参加費 2,000円

定員 100人(先着)

申込方法 TEL・FAXにて、下記までお申し込み下さい。

TEL (093) 591-7669
FAX (093) 591-7679

※随時募集していますので、お気軽にお問い合わせ下さい!!

北九州市
障害者福祉
ボランティア
協会より
お知らせ

STORMING SHOUT IN MOJIKO

日時 2001年3月24日(土) 17:00~22:00

場所 門司港駅前広場

主催 (社)北九州市障害者福祉ボランティア協会

趣旨・目的

ストーミングとは、嵐、暴風雨、若者が騒ぐetc...を意味しています。そして、私たちのストーミングは、人の輪による嵐です。障害のあるひとない人も一緒に各々が支え合い、励まし合い、結び合って、共通した一つの目標達成に向かっていくことを目的としています。

市民参加の手作り事業であるストーミングは、過去3年間、小倉~新門司間20kmを、みんなで朝日を見ようと一夜を徹して歩いていきました。総勢200名の人たちによっての嵐を起こすことが出来ました。

今年のストーミングはみんなで歌うこととし、次の通り実施したいと思います。課題曲を、ゴスペルミュージックを中心にヒットポップス等の音楽のジャンルを越えて選曲し、一人一人が自由に歌い表現しながら、参加者全員で曲を編み上げていきます。基本は「大きな声と笑顔」であり、音がはずれてもみんなでカバーしあい、美しく楽しい元気の出る独自の音楽を作り上げようと思うのです。従来のコーラスとは趣向が異なることから、「STORMING SHOUT」(ストーミングシャウト)と名付けました。

そして、「みんなもっともっと元気をだして!」をメッセージとして、ストリートパフォーマンスを行います。それが障害のあるなしに関わらず誰もが参加できるという新たな音楽となれるように、不特定多数の人たちを巻き込んでのストーミングを実施したいと思います。